

米軍機CH-53Eの部品の落下について

- 令和元年8月27日（火）17時30分頃、沖縄県東海岸沖（約8km）において、普天間飛行場所属の米海兵隊CH-53Eの窓※（約58センチ×約47センチ、約1キログラム）が落下する事案が発生。
 - ※ 落下物は、プラスチック製の客室の窓
- 本事案に関しては、米側から、
 - （1）落下した窓がないため、事案の具体的な原因を特定することは困難であるが、窓を固定するシールに何らかの不具合が発生した可能性がある
 - （2）窓の厳格な点検を強化するため、すべてのCH-53Eのパイロット及び搭乗員に対する追加的な教育を実施する
 - （3）飛行前及び飛行後の点検の際、窓についてシールと備え付け状態について特に重点的に点検を実施するとの説明を受けております。
- また、岩屋前防衛大臣が在日米軍沖縄四軍調整官と面談した際に、大臣から事故発生時の速やかな通報、安全管理の徹底、再発防止策の徹底を申し入れており、同調整官からも、再発防止等に努めていくとの回答があったところです。
- 防衛省としては、米軍の運用に当たっては、安全の確保が大前提であり、引き続き、米側に対し、安全確保を期すよう求めるとともに、本事案について、米側から新たな情報が得られれば、速やかに関係自治体にお知らせいたします。